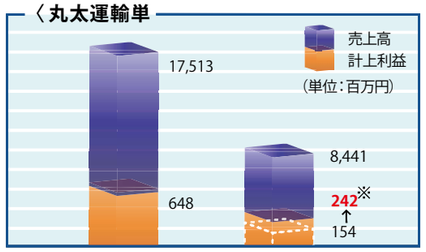
2012 年度経営収支見込
及び、2013 年度上期利益計画

1 2012 年度営業収支見込及び、2013 年度上期利益計画



※242（百万円）
当初計画では、経常利益ベースで 154（百万円）どまりでしたが、原低・拡販努力を見込み、242(百万円) という利益目標を設定しました

2012 年度 (2012 年 1 月～ 6 月) につきましては、欧州金融危機の長期化や円高定着による日本企業の競争力低下、さらには尖閣諸島問題による中国国内での日本製品不買運動の発生など、当社にも少なからず大きな影響を及ぼした 1 年でありながら、管理会計ベースで 648 百万円(6.48億円) の経営利益を計上することができました。

2013 年度については、円高是正、株価上昇、デフレ脱却、復興需要の本格化など一部明るい兆しも伺えますが、世界景気の不透明感もあり引き続き厳しい事業環境が予想されます。2013 年度上期では、「改善活動 (原低)」「営業、拡販の推進」を強力に推進し、より筋肉質な収益体質へ変貌させることで 242 百万円という経常利益を計画しております。

2 13 年上期　全社事業方針（ＰＯＩＮＴ）

急激な環境変化への対応

改善活動（原低※）によるコストダウン

- 現場、管理一体の改善推進・・・改善活動による人づくりの達成
- 投資の厳選と管理可能費の削減
- 組織改編による組織の活性化と管理体制の強化

※原低（原価低減）
多角的な視点から原材料費、労務費など諸費用を見直し、さまざまな方法を使って原価を抑えるための活動

営業、拡販の推進

- 重点事業への投資の集中投下

事業競争力／基盤の強化

※垂直立ち上げ
事業を段階的に拡大するのではなく、事業開始当初から生産・販売等を一気に最大限まで高めるマーケティング手法

3 2013 年度上期　事業計画

〈 丸太運輸 〉

for Logistics ― ロジスティクスエリア ―

- 名古屋物流センターの垂直立ち上げ※
  1 月 17 日より名古屋物流センター（名物）が稼働を開始。
  県内5ヵ所の倉庫を東海･名物に集約することで、運営の効率化を図る。
- 組織改編・ＣＳ管理チーム新設による管理の充実
  新チーム発足と大がかりな組織改編により、業務の効率化を図るとともに顧客のＣＳ（顧客満足度）の向上に努める。

▲1 月 17 日竣工式の様子

for Production ― プロダクションエリア ―

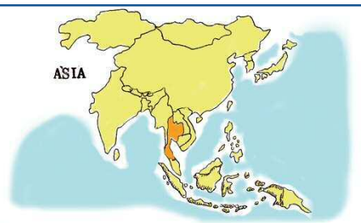
- 大同社知多工場新炉建設の対応
  2013 年秋の完成を予定している、新設 150 トン大型電気炉の建設に伴う対応について、知多営業所一丸となって進める
- 人材育成制度の体系化
  新人教育、スキル評価制度など、現場での技能伝承

for Construction ― コンストラクションエリア ―

≪エンジニアリング部≫
営業体制の再構築・・・効率的な営業展開、営業口売上確保
タイプロジェクトの支援
≪レンタルチーム≫
営業拠点の再構築・・・既存拠点の見直し、新規出店の検討
大江ビル耐震化

事業開発部

- 拠点整備・・・東海物流センター・大江ビル・元浜センター
  機能開発、耐震化など既存施設の設備強化・保全を図る
- 海外事業支援、調査（マルタホープとの共同）
  東南アジア広域を中心とした事業の調査等



管理統括部

- 制度改革・・・教育制度・職格制度・評価制度
- 内部統制　／　監査機能の強化（ＣＳＲ※チームの新設）

※CSR
企業の社会的責任（corporate social responsibility の略）。企業は利益の追求のみならず、社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー（利害関係者）との関係を重視しなければならないという責任。

〈 Ｇｒ６社 〉

マルタアマゾン㈱ / ㈱ブルーペッパー

- 車両効率化の追求
- 管理機能の強化（ＣＳ管理チームの新設）
- 戦力の再編・最適化

㈱マルタパワーズ

- 現有戦力の整備、見直し
- 体質強化
- 人材育成

群馬丸太運輸㈱

- 教育制度の構築
- 収益確保
- 遊休資産の圧縮

丸太自動車整備㈱

- 売上の確保
- 業務効率化
- 人材育成

㈱M. ニューコン

- 玉ノ湯運営請負化
- 新規事業へのチャレンジ（製造／販売事業）

名古屋物流センター 完全図解

1 月 17 日に竣工式が行われ、
名古屋物流センターは無事に業務を開始しました。
同センターは、月間 1 万 3500 t という
東海物流センターに次ぐ保管機能を持ち、
今後は当社の主力となる戦艦倉庫です。
今回はこのセンターの最新設備をご紹介します！！

倉庫の中はどんな感じ！？

総面積 5,390 ㎡（110m×49m）の鉄骨平屋建てで建てられた物流センターは、大同社の棒鋼のみを専用で扱う倉庫としてスタートします。

そのため、作業体制は夜間に大同社知多工場から当物流センター間を専用の特別車両２台を使って往復して、入荷作業を行い、昼間は出荷のみを行うという、入出荷のスタイルを取ります。

設備としては、天井採光を採用し（右写真）、省エネかつ自然光のみでも明るく安全な職場環境が保たれるよう工夫がされています。

※その他の特徴は次ページに掲載

工場 ー 名古屋物流センター間の輸送を行う専用車両として幌台車を採用しました。名古屋ボデー㈱と、幌シートの袖をカーテンのように開閉できる方法を共同開発し、荷台へのシート掛け時間の削減を可能にしました。

ココに注目!! 倉庫のひさしが凄い！

倉庫につけられた「ひさし」。一見普通に見えますが、このひさしは１３mもあり、鉄鋼を運ぶ大型トレーラーが縦に駐車しても荷台が濡れないようになっています。これで水濡れによるサビの発生を軽減し、品質向上につながります。

因みに、ひさしのスペースだけでもトレーラー23 台が縦に駐車できるほどのスペースがあります。

ココに注目!! 自社システム！ 置場管理システム導入

倉庫内の鋼材管理は、システム開発チームが中心に関係者が一丸となって開発をした棒鋼「置場管理システム」を導入。このシステムにより、「どんな棒鋼が」「何処にあるのか」を手元のタブレット端末で確認できるようになり、現品調査の工数削減と事務所での出荷作業効率化を図ります。

また、鋼材をクレーンで吊ると瞬時に、その鋼材の重さや出荷先が、クレーン横のモニターにも表示され（クレーンポジショニングシステム）、誤出荷を防ぎます。※1 月末よりクレーンポジショニングシステムと連携した置場管理は稼働。タブレット端末を利用した詳細情報の管理は 3 月からの稼働を予定しています。

〈従来の管理方法〉

今までは鋼材がだいたい何処にあるかは分かっても、現物は作業員が直接荷札を確認して探していました。

〈新システム〉

棒鋼のみの倉庫という特性を活かし、庫内のどの枠の何段目にあるかまで、手元のタブレットで特定できます。

ココに注目!! デッドスペースの極小化が凄い!!

より多くの棒鋼を置けるように、倉庫上部分にクレーン稼働用のハネ出しをつくりました。これにより、クレーンの稼働できないデッドスペースがなくなり、棒鋼が倉庫の隅にまで置くことができるようになりました。

上写真の点線部分。

このような上部分のみとび出た構造にすることで、庫内は約 400 t（150 ㎡）も保管可能なスペースが増え、かつ、屋外は車が駐車できるスペースを確保できました。

事務所はどうなってるの！？

鉄骨 3 階建てで、１階には、名古屋物流センター（倉庫運営 ）、物流管理チーム（配車 / 工場デリバリー）。２階には管理部門が入居。元浜センターと各倉庫で個別に行っていた当社の物流機能はほとんど当物流センターに集約されました。

事務所の外観は、極力無駄な設備や装飾をなくしたシンプルなデザインで、外観・内観共にとても美しく、かつ機能的な構造になっています。特に階段部分はガラス張りになっており、縦に配置された丸太ロゴが外からも目立ちます。

１ 階

名古屋物流センター（倉庫運営）
Tel：(0562)33-0250 ／ Fax：(0562)33-2060
物流管理チーム (配車 / 工場デリバリー）
Tel：(0562)33-2311 ／ Fax：(0562)32-9335

窓ガラス部分が大きいので、事務所内から場内の様子がよく見え、昼間は自然光のみでもとても明るく感じます。また裏口は手洗い場や、２階の休憩室に直接通じる専用階段もあります。

２ 階

物流管理チーム（管理）
Tel：(0562)33-3851 ／ Fax：(0562)32-3852
応接室
作業者用休憩室（シャワー室、ロッカー室完備）

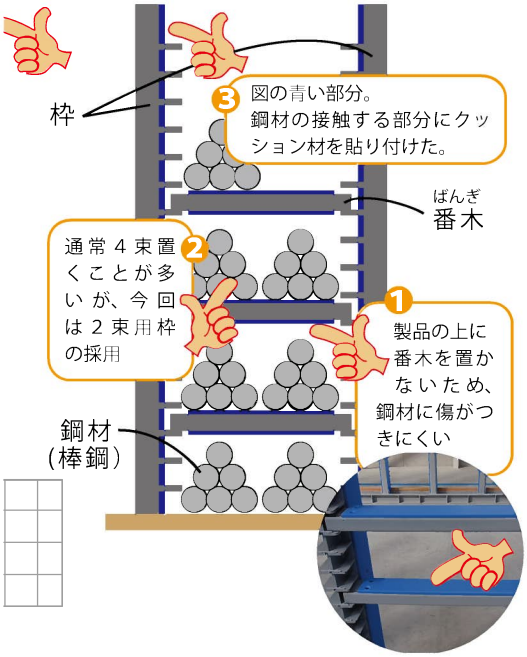
２階は事務所の他に、応接室と倉庫作業者用休憩室があります。休憩室にはシャワー室などの設備もあり、作業者の方が快適に休憩できるようになっています。

３ 階

災害時避難場所
会議室
女性用休憩室

屋上（ 写真）は災害時の避難場所として 40 人程度収容できるスペースを確保しました。また、浸水対策として電源設備や室外機などの主要設備も同じく屋上にまとめられています。これは景観美化にも一役かっています。

ココに注目!! 棒鋼の品質向上のために、こんなに気を使ってます。



倉庫内に設置された棒鋼を保管するための置き場枠には、製品を傷つけないためにさまざまな工夫が施されています。

❶ 特別管理品枠の導入

従来は鋼材を置き場枠に置いた後、番木を置き、またその上に鋼材を積むという方法を取ってきましたが、この特別保管品枠では鋼材の上に番木を置くのではなく、各枠にある溝に専用の番木を置くために、製品同士の接触がなくなりました。

❷ ２束枠の採用

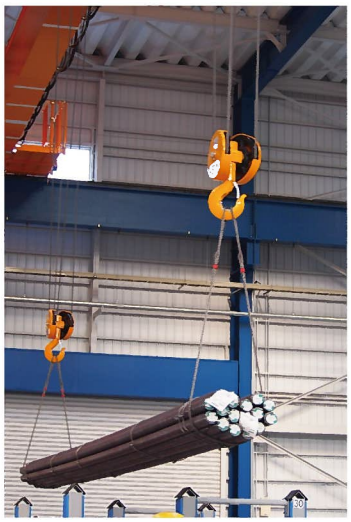
通常よりも横幅が狭い枠を使い、１つの枠に２束の鋼材を置くようにしました。これにより、枠の下の方に保管されている鋼材を取る際に、他の鋼材を配替えする作業工数が削減できました。

❸ キャストナイロン緩衝材

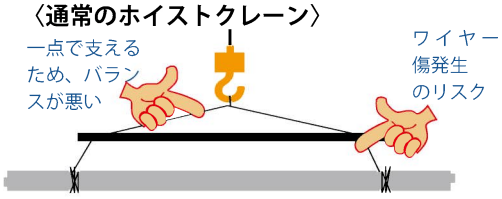
各枠の鋼材接触部分には、鋼材を傷つけないためのキャストナイロン製のクッション材を貼り付けました。これによって、接触による傷を少なくすることが可能になりました。

ココに注目!! 玉掛け用のクレーンにも秘密があります！

名古屋物流センターでは、吊加重 10ｔ（５ｔ×２）のクレーンが４基あり、そのどれもが「ダブルフックホイスト」というタイプのクレーンを導入しています。



〈通常のホイストクレーン〉



従来のクレーンで棒鋼をつる場合、１つのクレーンで横長の製品を吊り上げるために、バランスが不安定になりがちでした。

〈ダブルフックホイスト〉

今回導入した「ダブルフックホイストクレーン」は、フックが２つあり、吊り上げ時の安定感が増しました。

ここで働くスタッフ

「名古屋物流センター」は、今回ご紹介した設備以外にも、多くの工夫がされています。保管製品の品質向上と、作業者の安全性・生産性を向上させるため、まだまだ改良点は沢山ありますが、この倉庫は、丸太で働く社員の総力を結集した最新鋭の施設です。是非近くにお寄りの際は、ヘルメット片手に見学をしてみてください！

名古屋物流センター竣工式が行われる

2013/01/17

1月17日（木）、昨年8月より建設を進め、知多市の浦浜工業団地内に完成した、「名古屋物流センター」の竣工式が執り行われました。当日は、当社から髙村会長、髙村社長をはじめとした各役員、来賓として大同社常務の宮嶋様、大同興業社長の今井様、知多市議会議員小坂様など8名の方々をお招きし、設計者、施工者など総勢24名での式典となりました。

式は、八幡神社の森岡文彦宮司の発声の元、当物流センターの業務発展と安全を祈願をしました。式典の後には、構内の見学やなおらいも行われました。

当物流センターは、県内5か所の物流センターを集約するために建設され、今後は半田センター大府センターなどを廃止し、同所と東海物流センターの2か所で製品の保管を行うことになります。機能としても月間1万3500トン以上の保管量を予定しており、東海物流センターに次ぐ保管機能を持つ、最新鋭の戦艦倉庫になります。（詳細は特集5～7ページをご覧ください）以下、髙村社長、大同社宮嶋常務挨拶。

◆　◆　◆　◆

【髙村社長　挨拶】

初めに施工を行っていただいた大林組殿、アーキキューブ殿への感謝を伝えるとともに、大同社からも厚いご支援、ご指導を賜りましたことを、改めて御礼申し上げる。

当社は来年創業百周年を迎えるが、それに先駆け、この戦艦倉庫を立ち上げた。この施設には最新鋭の置き場管理システムを導入し、品質・安全、また識別管理においても今まで以上のクオリティのサービスでお客様に品物を提供できると確信している。今日竣工式が行えたことを本当にうれしく思っている。

【大同社宮嶋常務　祝辞】

名古屋物流センター竣工に際し、改めてお祝いの言葉を申し上げる。丸太さん大変伝統ある会社だが、大同社もその2年後、2016年に創業百周年を迎える。そして、同社とはその創業当初からの付き合いがあり、戦前、戦中と非常に長い付き合いを重ね、現在も大変お世話になっている。現在は大きな企業へと成長し、大同社においても丸太さんなしでは物流は考えられないというほど、大変大切なパートナーである。

この度は、多くの費用を投資してこの名古屋物流センターを建てられたが、このセンターは知多工場からも非常に近く、月間保管量が1万トン強、またご覧いただいた通り、最新鋭の設備を大同社のために運用してもらえるというのは大変感謝をしている。先ほど戦艦倉庫と言われたが、この倉庫の立ち上げできた更なる結束が、今後の発展に繋がるのではないかと思う。

群馬丸太運輸㈱ 大同社合同訓練に参加

11月15日（木）、大同社渋川工場で防災訓練が実施され、群馬丸太運輸からも社員が参加しました。

訓練は、地震などの重大災害を想定した避難経路の確認や、点呼確認だけでなく、消防、救急、地域事態との連絡手順を確認するために、実際に消防車や救急車、ドクターヘリなども出動した大掛かりな訓練となりました。避難訓練後の消火訓練では、当社からも東城さんが参加し、訓練用の消火器を使って消火を行いました。

最後に大同社の竹鶴工場長より災害についての話を頂き、訓練を終えました。今後はこの訓練を活かし、非常時に役立てます。

▲新館屋上よりはしご車を使って救助する様子

▲消火訓練に臨んだ東城しのぶさん

群馬丸太運輸 創立記念 ゴルフコンペ開催

11月16日（金）、群馬県高崎市にある、ベルエアカントリークラブにて、群馬丸太運輸主催の「第60回丸太会ゴルフコンペ」が開催され、社員、BP、取引先など、社内外の総勢26名が参加しました。

今回は特に記念すべき、60回目のコンペということもあり、大会は大いに盛り上がりました。当日はお天気にも恵まれ、コース上では、仕事上の垣根をこえた交流を深めながら、とても楽しいプレイになりました。

なお、今回の結果は、

優勝者（新ペリア）……物流班：飯塚三宏さん
（OUT41/IN44 GRS85）

GRS優勝（ベスグロ）…ブルーペッパードライバー：山田龍司さん
（OUT39/IN39 GRS78）

でした。飯塚さん、山田さん、おめでとうございます！

▲コンペに参加したメンバー

いくつ知ってる？ MARUTAニュース

２０１２年11月～２０１３年１月頃までの主な出来事を一挙にご紹介！
あなたの所課のあんなコトこんなコト・・・
どんなコトでもかまいません。ニュースをどんどん教えて下さい！
情報をお待ちしています。

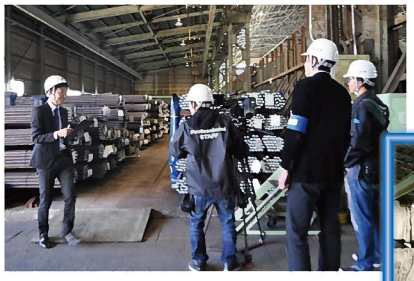
佐久間特殊鋼㈱殿の採用映像に東海物流センターがチラリ

11月21日（水）、東海物流センターにて、佐久間特殊鋼殿（以降佐久間社）の採用映像の撮影が行われました。

この映像は、佐久間社が今春からの大学生採用のために製作している映像で、佐久間社営業第2グループ営業第1チームの奥大輔さんの社員紹介の中の、仕事風景の一部として、当物流センターが使われました。

映像撮影の現場として使われたのは、同センター内の、佐久間社製品が保管されている、特別管理品枠などです。

当日は、慣れた様子で製品のチェックをされる奥さんの仕事ぶりを、教育産業社のカメラマンが撮影をしました。



▲撮影の様子

全体労使懇談会　開催

11月27日（火）、本社にて、年に一度開催される丸太グループ全体労使懇談会が行われました。これは、安全や衛生など業務状況について丸太グループ全体で話し合う会議で、当日は、労働組合より泉委員長以下14名、会社側として北島常務以下7名が出席しました。

懇談会では、冒頭北島常務より「業績について、上期は利益達成をすることができたが、下期は取引先の生産量に影響を受けて厳しかった。来期は、原低や利益確保において協力をお願いしたい。」と挨拶ありました。その後、各グループごとに代表者から業務報告があり、組合からは、年金問題や高齢者雇用安定法についてなど、それぞれの報告内容について質問がありました。最後に総括として「今回の懇談会は14年中期の内容説明でしたが、今後、来る百周年に向けてブレのない取り組みを行うためにも、労使相互の力を合わせていきましょう」と北島常務よりお話しいただきました。

▲労使懇談会の様子

丸太会　焼津黒潮温泉旅行

11月27日（火）、「新東名で行く！焼津黒潮温泉昼食宴会の旅」と題して、毎年恒例の丸太会日帰り旅行がありました。当日は参加者41名が名鉄神宮駅前に集合して、バスに乗車。一同は昨年4月に開通したばかりの新東名を通り、行き先である焼津に向かいました。焼津ではまず、日本一の千手大観音を本尊とする、曹洞宗大覚寺の全珠院を参拝し、続いて黒潮温泉焼津グランドホテルにて、入浴と昼食として宴会を行いました。宴会後は、お茶工場見学と焼津さかなセンターでお土産を購入し、帰路につきました。

特に盛り上がった宴会を始めとして、当日はお天気にも恵まれ、一同は久しぶりに会った懐かしい仲間と共に、旅行を楽しみました。

いくつ知ってる？ MARUTAニュース

２０１２年１１月～２０１３年１月頃までの主な出来事を一挙にご紹介！
あなたの所課のあんなコトこんなコト・・・
どんなコトでもかまいません。ニュースをどんどん教えて下さい！
情報をお待ちしています。

ちょうちん持って「交通安全」パレード

12月6日（木）、愛知県トラック協会主催の『自転車利用マナーアップ提灯パレード』が行われました。

これは、冬の交通安全県民運動の一環として、夜間のライトの点灯・二人乗りの禁止・放置自転車の追放など、自転車利用のマナーアップを街頭に呼びかけるために、毎年年末に行われている行事です。当日は寒波が押し寄せ冷え込む中でしたが、堀田小学校東門に愛知県トラック協会第2支部瑞穂交通部会、堀田学区連絡協議会、学区内のＰＴＡなどの面々、総勢70名が集まり、主催者からの挨拶とパレードの手順説明の後、反射材のタスキを身に着けて、交通安全の提灯やサイン板ライトを持って学区内をパレードしました。

▲パレードに臨んだ総務チーム岡Ｌｄと、高橋係長

お疲れ様です12月末定退式

12月26日（水）、同月末に定年を迎える3名と、翌年3月末に定年を迎える2名合同での定退式がありました。

式典では始めに、高村社長より一人づつ感謝状の授与がありました。その後、長年にわたって社業に貢献してみえた5名の方に向けて、感謝とねぎらいの言葉を頂きました。そして、来たる百周年に向けて、その功績を継承し益々会社を盛り上げていくことこそが、今回定年を迎えられる方々に報いることだとお話をいただきました。

今回定年を迎えられた方々は、引き続きお仕事をされる方がほとんどです。みなさん今回の定退式を一つの区切りとして、気持ちを新たにされたようでした。

▲定退式に参加された面々

『優良クレーン運転士』に2名選ばれる

11月1日（木）、知多営業所の後藤定治班長と、寺本吉宏班長が、名誉ある『優良クレーン運転士支部長表彰』を受けました。

これは、同日に行われた、東海クレーン安全大会にて表彰を受けたもので、2人は永年にわたり、クレーン運転業務に従事し、安全かつ作業成績が非常に優秀で、他の模範となるとして、今回の受賞にいたりました。当日は、名古屋市にあるメルパルクNAGOYAにて、日本クレーン協会東海支部の波多智行支部長より、直接表彰状を受け取りました。

今回の受賞を受け、日頃から若手の指導にも熱心な2人は、今後益々教育に力を入れたいとのことでした。

▲後藤班長

▲寺本班長

㈱マルタパワーズ 新サイロの竣工式が行われる

12月7日（金）、マルタパワーズが管理を任されている、住友大阪セメント㈱殿の名古屋港ＳＳにて、新サイロの竣工式が行われました。

これは、11年10月から工事を行っていた１８０００トンサイロ完成に伴う式典です。当日は、同社関根福一社長を始めとして各役員、お取引先様、施工主など、総勢約70名の方々がご列席され、熱田神宮の小串宮司によって、同施設の堅固・安全と繁栄を祈願する神事が執り行われました。

式典の後には、高木部長の案内による施設内の見学、熱田神宮会館へ場所を移してなおらいも行われ、ご列席いただいた関係者の方々と共に、新サイロの完成を祝いました。

▲なおらいにて、締めの挨拶をするパワーズ佐野社長

▲住友大阪セメント社関根社長による玉串奉奠

サイロってなに？

『サイロ』とは、同社が輸送をしている粉体（コンクリートの原料）を保管しておくための貯蔵タンクのこと。今回名港ＳＳに完成したのは、その保管量 18000ｔの巨大なタンク。　タンク内は図のように５つに仕切られ、普通セメント以外の品目も扱えるようになりました。

◀サイロを上から見た図

▲完成した新サイロ（奥の小さいタンクは、旧サイロ）

いくつ知ってる？ MARUTAニュース

２０１２年１１月～２０１３年１月頃までの主な出来事を一挙にご紹介！
あなたの所課のあんなコトこんなコト・・・
どんなコトでもかまいません。ニュースをどんどん教えて下さい！
情報をお待ちしています。

知多営業所 照井さん 3年連続の快挙！

12月7日（金）、知多営業所屋の照井達詞さんが、大同社知多工場内で行われた保全技能競技会の、圧延クレーン部門で優勝をしました。この大会は、クレーンの操作技術や、保全知識向上のために毎年開催されている社内大会です。照井さんは、昨年も一昨年もこの大会で優勝をしており、今回の優勝で実に3年連続の優勝という快挙を成し遂げました。

照井さんにインタビュー

競技会に向け、全力で教えてくださった方、特に小島さん！！ありがとうございます。

今後の抱負をどうぞ！

今後は自分のステップアップをし、ワンランク上の作業（仕事）をしていきたいです。また、新人教育などのボトムアップも積極的に取組んでいきたいです。『ぜひ、圧延クレーンへ一度見学しに来て下さい！』

周囲の反応はどうでしたか？

「おめでとう」とか「すごいね」とかです。案外普通の反応でした。

大会にはどのような気持ちで臨みましたか？

「絶対優勝してやるぞ！」という気持ちで臨みました。

以上、照井さんからの一問一答でした。
照井さん、お忙しい中回答をありがとうございます。３年連続の優勝、本当におめでとうございます！！

仕事初め式

1月7日（月）、本社5階にて、高村会長、高村社長をはじめとした役員、本社社員など総勢40名が出席し、仕事始め式が行われました。長い休みを終え出社した社員は、気持ちを切り替えて13年のスタートを切ることが出来ました。以下、挨拶

高村社長

今年も共に仕事ができることを嬉しく思う。新年に当たり、各々、目標を持ち業務に臨んで欲しい。私の目標は、社内改革である。人が百年生きると大手術を数回するように、企業も経営に大きくメスを入れる時期が必要。強烈な改革で、経営を筋肉質にしたい。当社も昨年はおかげ様で、初の海外拠点となるタイ現地法人が発足した。そこを拠点に、刻々と変化する世界情勢を肌で感じ、それを元に改革を行いたい。そして、みなさんには他社と交流し、自らの方法が時流に乗っているか、見直しをお願いしたい。また、社員間の『和』を大切に、この改革を協力して乗り切ってほしい。

高村会長

世界中がギスギスしている。これは、国が個性を出そうという現れで、各国々の間では、連携・協調という考えが薄らいでいる。しかし、当社には創業から『和』を大切にする社風がある。みなさんにはこれをより大切に、それぞれの現場、チーム内でもリードしてほしい。百周年の前段として今年を輝かしい一年にして欲しい。

大同社　新春の初荷式に参加

1月5日（土）、大同社の知多工場にて新年の初荷式がありました。これは、当社および各協力会社、同工場へ納入を行っている業者が、毎年合同で開催しているもので、当日は西村工場長の年頭の挨拶の後、知多営業所山田MGの乗車指令があり、津野帯鋼工場長の発車指令で各社の車両が出発をしました。式典に参加したマルタアマゾンのトレーラーは、紅白の幕を付け『初荷』ののぼり旗をヘッドに掲げ、先頭で出発をしました。

▲出発の準備をする車両の列

安全願い、成田山で祈願行う

1月22日（火）、犬山の成田山にて、当社ならびにグループ各社の安全管理者総勢21名が参加し、安全祈願を行いました。本堂での30分ほどの祈祷を受けた後、林GMより「当社には営業所、グループ、協力会社を含め、約百の拠点があり、千人の社員が働いている。その全社員が安全を心がけ、365日無事故を完遂するのは、本当に尊いことだという話を、昔、先輩社員から聞かされた。昨年はお陰で高収益を得ることができたが、安全に関しては反省点がある。そんな今こそ、みなさんには各所へ今日の話を持ち帰り地道に無事故を務めることを伝えてほしい」と呼びかけがありました。

続いて労働組合工藤書記長からも「年頭の業務報告会で『今年は厳しくする』と申し上げた。これは昨年一昨年の事故を受けて、今当社に求められていることが、責任者だけでなく、全社員に安全意識を浸透させることだからである。みなさん職場では嫌われる覚悟で安全を徹底させ、作業者を怪我等から守ってあげてほしい。」との挨拶がありました。

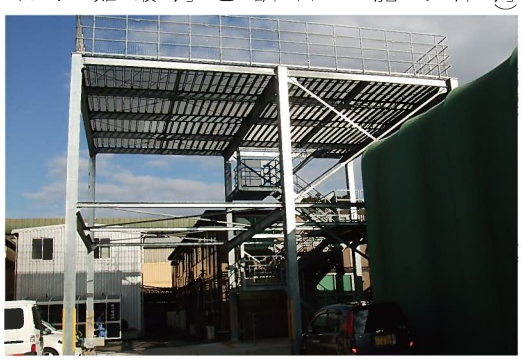
ロジスティクスエリア東京支店

君津分室　避難訓練の実施

通信委員　傳田　圭一郎

10月15日（月）に、大同社君津工場にて合同の避難訓練が実施されました。一昨年3月の東日本大震災の教訓から津波対策として昨年の8月に高さ10m、最大百名まで避難できる避難ステージがつくられてから初めての避難訓練です。

午前8時に緊急地震速報のサイレンが鳴って訓練が開始されました。そして、二次避難での待機中の、25分後には、津波避難警報発令を受けて、一斉に避難ステージへ昇りました。



▲君津工場に設置された高さ１０mの避難ステージ

コメントを下さった高山作業長▼

高さが10mもあるので足がすくむぐらい怖かったです。けれど、今回は訓練でしたが、まだまだ関東は余震が続いています。いつまた起きるかわからない状況の中で作業しているので、発生した時に迅速に対応できるようにしていきたいです。

マルタアマゾン株式会社

労使共催レクリエーション

通信委員　相原　学

11月17日(土)、マルタアマゾン労使共催で清水、焼津に、奥さん子供へのお礼も兼ねて家族参加の日帰り旅行に行きました。年に2回行ないますが、今春は行くことが出来ず、皆楽しみにしていました。当日、K幹事号令のもと、小雨の降る中、元浜を出発。その後、K幹事はわけわからない状態になりました。)

三ケ日ICより新東名を走行し清水港に到着。途中のサービスエリアでは地域の物産やグルメが沢山ありましたがアルコールを少々(?)飲んだ方々はメインはトイレだったかもしれません。清水港ではクルージングを。雨のため富士山も雲で見えず、デッキは寒くて凍りつくようでしたが、かもめに餌をやる子供たちを見て和やかな気分になりました。メインの昼食は「焼津さかなセンター」でのお寿司食べ放題！新鮮なネタがいっぱいで、奥さんそっちのけでガッツリ食べるK藤さん。お腹杯おいしく頂きました。幹事のKさんご苦労様でした。次も楽しみにしています。

◀お寿司をほおばる幹事K藤さん

エンジニアリング部

出張先で頑張ってます!!

通信委員　横山　寿之

エンジと言えば…そう現場への長期出張作業です。

今回の現場は首都高・中央環状品川線です。昨年7月から年末までの約半年間に渡り、掘削完了後のシールド機解体作業を施工してきました。

数々の難局を知恵と経験で打破していく職人の皆さんには、ホント頭が上がりません。今回も難工事でしたが、無事完工でき協力して頂いた方皆さんに感謝です。

エンジニアリング部のご家族の皆さん、長期出張ばかりで寂しい思いをさせてゴメンなさい。私達は日本のインフラ整備に貢献しています。社会に誇れる仕事をしています。帰ったら沢山家事手伝いますので、元気に待っていて下さい。

▲前列右側より、横山、裏住、針班長

発行元
MARUTA
丸太運輸株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区新開町 22-20
〒467-0856　電話 052(872)3311

安全だより

発行日
2013 年(平成25年)3 月 1 日(金曜日)
担当
安全チーム　渡辺 敏晴

2012年度 自主管理活動の優秀グループが表彰されました

自主管理活動の基本は、
①創造することの喜びを通じ、自己の能力を発揮し、無限の可能性を引き出し、自分を成長させること
②仲間のために、人間性を尊重しながら、生きがい、働きがいのある明るい職場を作ること
③①ならびに②の達成が、会社の体質改善・発展に寄与する　を理念とし、その達成こそがＪＫ活動の目的です。

我々の生活は、会社の勤務時間を中心に残りが余暇などに配分されていますので、毎日の生活の中で、職場がつまらないものであっては人間としての幸せは少なくなります。したがって、職場は楽しくなければなりません。

一般的に人が楽しいと感じる６つの要素

①その行動が自主的であること（誰でも強制されるのはイヤだ）
②自分としての腕の見せどころがあること（自分のアイデア、勉強の成果や特技が生かされること）
③自分が行った結果の評価や貢献度の内容が確認できること
④困難を乗り越えたとき（楽なところには退屈が生まれ、苦があればこそ楽しさが生まれる）
⑤気の合った仲間と一緒であること（気がねなくものが言え、お互いに励まし合える仲間がいる）
⑥自分の力が一層向上したと感じられる充実感、満足感が得られたとき

これらの要素は、通常の業務だけでは満たすことができず、そこでＪＫ活動の必要性が生じ、楽しい職場づくりのツールとなります。

改善活動とは

同じ職場の人たちが小グループを編成し、職場の問題を取り上げ、その解決に向かって自主的に目標を立て、創造性、チームワーク、リーダーシップを発揮し、自己啓発・相互啓発を図って、その達成に努力するグループ活動

【最近４年間のＪＫ活動完了報告月別件数実績】

年　月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2012年	3	4	6	8	7	4	9	3	2	8	2	4	６０（0）
2011年	2	3	4	7	2	4	2	5	2	1	1	4	３７（0）
2010年	6	4	2	6	2	4	1	1	2	3	2	3	３６（0）
2009年	3	0	2	4	1	1	4	5	0	4	1	0	２５（1）

※　合計欄（　）内は、Ｇｒうち数

【２０１２年度　ＪＫ活動表彰グループ】

社長表彰	51Y鋼塊置場作業床整地	築地営業所 築地車輌班
常務表彰	いざ北米へ!コイル安定輸送への遥かなる旅	知多営業所 線材グループ
	入庫量増加どうする物流	星崎営業所 クレーングループ
ＧＭ表彰	東海物流センターホイスト無線化及びインバーター化	知多営業所 ティチャーズグループ
	目指せAKB“若者による製缶場改善活動”	知多営業所 若手グループ
	進化を続ける僕らの職場!～オイルヤード環境改善編～	知多営業所 門型青空グループ
	やるぞ!鋼片合理化!みんなの力を今こそ一つに	知多営業所 門型青空グループ
	5F6積込み出荷作業時の不具合を撲滅	星崎営業所 チェックマングループ
	選別場拡大最大限に活かそう	星崎営業所 モリモリグループ

◀社長表彰を受けた築地営業所當眞作業長（左）

◀常務表彰を受けた知多営業所酒井班長（右）と星崎営業所豊班長（左）